

真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第9回真田地域協議会
2	日 時	令和5年12月26日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	澁澤春代 委員、関口俊行 委員、高寺由美子 委員、田畑和秀 委員、中村守 委員、 廣瀬しず江 委員、堀内和子 委員、堀内靖子 委員、本多美和 委員、丸山美奈子 委員、 皆川克彦 委員、宮島淳 委員、柳沢泉 委員
5	市側出席者	宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査

協議事項等

1 開会(中村副会長進行)

2 会長あいさつ

3 調査研究(第9期協議会の振り返り)

事務局から、

- ・第9期のこれまでの協議経過の報告
- ・これからの地域協議会のあり方に関する提案
- ・自由意見発表

【委員】

- ・色々な情報提供を受けてきた
- ・これからのことを考えていく為には10年先を見据えたデータが必要だ
- ・それらをもとに検証していく必要がある
- ・高齢者は減ってはいかない。
- ・今の区分で高齢者と呼ばれる人の中にも助けが必要な人(救援者)と助けられる人(支援者)がいる
- ・元気な高齢者がどのように活躍していけるかが大切だ
- ・それらは高齢になってからの生きがいや活躍の場につながる
- ・先日テレビでもやっていたが、例えば介護の場などでも資格が必要な仕事と必要ない仕事がある
- ・資格が無くてもできる仕事は多く張るはずだと思う
- ・マッチングが大切だ

【委員】

- ・様々な課題がある。まず地域の現状をよく知る事が大事だと感じた。
- ・これまで作り上げてきた地域の枠組みにどうしても縛られてしまう側面を感じる
- ・現在に見合ったしがらみから抜け出せる社会も必要だ
- ・本質的になくてもいいものと続けていく意味のある行事、役など整理も必要
- ・ただ何かをなくすだけだと地域が失速する。優先順位も大切だ
- ・このようなことを知っていく勉強会も必要だと感じる

【委員】

- ・前の地域協議会では調査研究に多くの時間を採ってきた
- ・このような調査研究は早くから進めてもいいのではないかと思う
- ・今年度施設見学もした公共施設の利活用など、既に過去の地域協議会でも話していた
- ・実現可能なことを集中的に話してもいいと思う

【委員】

- ・個人的には公共施設、特に視察した総合福祉センターに関心がある
- ・一度説明があったがその後どうなっているのか、
- ・地域にとってなくてはならない施設だ
- ・利用者にとってエレベーターがないことやトイレが旧式のものだったりとして優しくない
- ・この様なことを改善して欲しい

【委員】

- ・真田に住んでみて本当にいいところだと感じる
- ・体育館の利活用状況や土地が安いことなど驚くことが多い
- ・一方で、施設見学に行った菅平高原アリーナなどは存在も知らなかった
- ・地域の発信力が足りないと感じる
- ・若い人はほとんどが Instagram をつかっている (X や facebook など使わない)
- ・なので真田のことを調べようと思ってほとんど出てこない
- ・イベントなども若い人が知る機会を増やすことで活性化できる余地はあると思う

【委員】

- ・ふれあいさなだ館について考えを持っている
- ・地元気軽に宿泊できる施設がない
- ・お客様などが来ても、いまは自宅に泊まってもらう時代ではない
- ・温泉もあるし食事もできるのでいい場所だと思う
- ・またそういったことが進むと職場としても機能する
- ・地元で少しでも働ける場所になる
- ・地元でやりがいを持って働くことができる
- ・上田市自体が通過点になりやすいので、真田地域に少しでも滞在する人を取り込めたらいいと思う

【委員】

- ・地域協議会に参加してこのような地域のことを学ぶ機会をもらって本当に感謝している
- ・自分はこの地域にずっと住み続けたいと思っている
- ・いまは、自分より下の世代の人たちにとっての目標になりたいと思っている
- ・そのためには私たち世代が活躍できる場所が必要だと思う
- ・真田にはいろいろな活動をしている人がいるのでそういった仲間が集まる拠点づくりが必要
- ・今日も示してもらった所必ず来る人口減少などの将来を待たず、今動かないといけない
- ・問題が発生した時に考えるのではなく、将来の課題を想定して今考えることが必要
- ・とにかく、そう感じた人たちが今動かないといけないと思う
- ・このような話題を、地域の多くの人に人に伝えてみんなの共通意識の問題にしていきたい

【委員】

- ・子育てからずいぶん離れて、この地域の少子化がこんなに進んでいることに気が付かなかった
- ・このような話題は住民全員で話していかなければならない
- ・また有線放送が無くなった影響が大きいと感じている
- ・これまで有線放送に頼っていた高齢者の情報量が極端に減っていると感じる
- ・地域情報から距離が生まれるだけで元気がなくなってしまふ
- ・デジタル化の推進事業もその後どうなったか説明が欲しい

・

【委員】

- ・ 日本全体の話だが人口の減少が非常に進んでいる
- ・ 子育て費用など若い世代に余裕がないのが一因だと感じている
- ・ もちろん国の政策など大きな話だが、地域でも子育てに関係する政策が必要だと感じる
- ・ 色々な人がもっと子育てに関する関心を高めていかなければいけないと思う
- ・ 地元の傍陽小の運動会で一学年が少なくて驚いた
- ・ 地域の問題にしていきたい

【委員】

- ・ 自分の所属している自治会は割合新しい
- ・ 地域で実施するイベントも多いように感じる
- ・ 一方で、問題意識は持っていても協議して決定することを先送りすることが多いように感じる
- ・ 公共交通や少子化など地域で暮らす将来に不安を感じることも多い
- ・ 少しでも地域の不安をなくして、子どもたちが一度地域を離れてもまた帰ってきたいという地域にしていきたい

【委員】

- ・ 先ほど地域の仲間の拠点が欲しいという話が合った
- ・ 夢工房では色々な活動を行っている団体が和気あいあいと楽しんでいる
- ・ こういったことも地域では知らない人が多い
- ・ 多くの人に知ってもらうことで仲間が増えてほしい
- ・ また住民自治組織などの拠点をもとに地域活動を知ってもらう人が増えてほしい

【委員】

- ・ 先ほど昔の地域協議会の話があったが、過去に何が話われていたかも教えてほしい
- ・ 今でも我々が若い世代と時代が違うと思うが、10年後はもっとスピードが速いと思う
- ・ 一度決めたことでも時代に合わせて修正する勇気も必要だと思う
- ・ 特に自治会は前例踏襲が多く、変化を求めない
- ・ しかしそれでは苦しくなるだけだ。現状を踏まえた改革も必要になってくる。
- ・ 公共施設の話もあったがハードは予算との闘いだ
- ・ ソフト面で何かできることもある

【会長】

- ・ 色々な視点でお話し下さって感謝している
- ・ これからの地域を自分事で考える時間が必要だ
- ・ 残りの協議会でもぜひ時間を作っていきたい

4 閉会